

# 塩竈市立病院事業会計

## I 予算の執行状況

### 1 収益的収入及び支出

#### 1) 収入

(単位:円、%)

区 分	予 算 現 額	うち法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	執 行 率
病院事業収益	3,069,556,000	0	2,932,012,759	△ 137,543,241	95.51
医 業 収 益	2,709,677,000	0	2,568,446,556	△ 141,230,444	94.78
医 業 外 収 益	358,879,000	0	363,566,203	4,687,203	101.30
特 別 利 益	1,000,000	0	0	△ 1,000,000	-

(注) 決算額は消費税を含んだ金額である。

#### 2) 支出

(単位:円、%)

区 分	予 算 現 額	決 算 額	翌 年 越 度 額	不 用 額	執 行 率
病院事業費用	3,059,858,000	2,987,764,542	0	72,093,458	97.64
医 業 費 用	3,002,518,000	2,930,653,929	0	71,864,071	97.60
医 業 外 費 用	51,082,000	50,852,680	0	229,320	99.55
特 別 損 失	6,258,000	6,257,933	0	67	99.99

(注) 決算額は消費税を含んだ金額である。

#### ① 収益的収入

予算現額3,069,556,000円に対し、決算額2,932,012,759円で、執行率95.51%となっている。

#### ② 収益的支出

予算現額 3,059,858,000 円に対し、決算額 2,987,764,542 円で、執行率 97.64%となり、72,093,458 円の不用額が生じ決算されている。

- [主な不用額]
- ・材 料 費 38,101 千円 (薬品費 35,674 千円、給食材料費 2,425 千円)
  - ・経 費 27,494 千円 (委託料 7,968 千円、賃借料 6,267 千円)
  - ・給 与 費 3,217 千円 (退職手当組合負担金 3,214 千円)
  - ・研究研修費 3,049 千円 (旅費 2,112 千円、研究雑費 632 千円)

## 2 資本的収入及び支出

### 1) 収入

(単位:円、%)

区 分	予 算 現 額	うち法第26条の繰越額 に係る財源充当額	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	執 行 率
資本的収入	324,340,000	0	220,393,280	△ 103,946,720	67.95
他会計補助金	34,340,000	0	34,093,280	△246,720	99.28
企 業 債	290,000,000	0	186,300,000	△103,700,000	64.24

(注) 決算額は消費税を含んだ金額である。

### 2) 支出

(単位:円、%)

区 分	予 算 現 額	うち法第26条の規定 による繰越額	決 算 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	執 行 率
資本的支出	375,415,000	0	273,662,022	98,600,000	3,152,978	72.89
建設改良費	294,696,000	0	192,943,030	98,600,000	3,152,970	65.47
企業債償還金	59,219,000	0	59,218,992	0	8	99.99
長期借入金 償 還 金	21,500,000	0	21,500,000	0	0	100.00

(注) 決算額は消費税を含んだ金額である。

#### ① 資本的収入

予算現額 324,340,000 円に対し、決算額 220,393,280 円で、執行率 67.95%となっている。

#### ② 資本的支出

予算現額 375,415,000 円に対し、決算額 273,662,022 円で執行率 72.89%となっているが、地方公営企業法第 26 条の規定による翌年度繰越額が 98,600,000 円で、不用額は 3,152,978 円となっている。

建設改良費は、施設購入費として 133,800,941 円、施設改良費として 54,446,280 円、リース資産購入費として 4,695,809 円である。施設購入費の内訳は検体検査機器購入（契約額 91,709,021 円）、電動ベッド購入（契約額 21,016,800 円）等、施設改良費の内訳はエレベーター改修・新設工事（翌年度繰越分除く）等である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 53,268,742 円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 13,944,239 円、当年度損益勘定留保資金 39,324,503 円をもって補てんしている。

## II 経営成績

平成24年度から平成28年度までの経営成績は、次表のとおりである。

消費税を除いた本年度の収益的収支は、58,614,740円の純損失となって決算されている。

なお、以下の計数については、消費税を除いたものである。

### 1 総収益と総費用

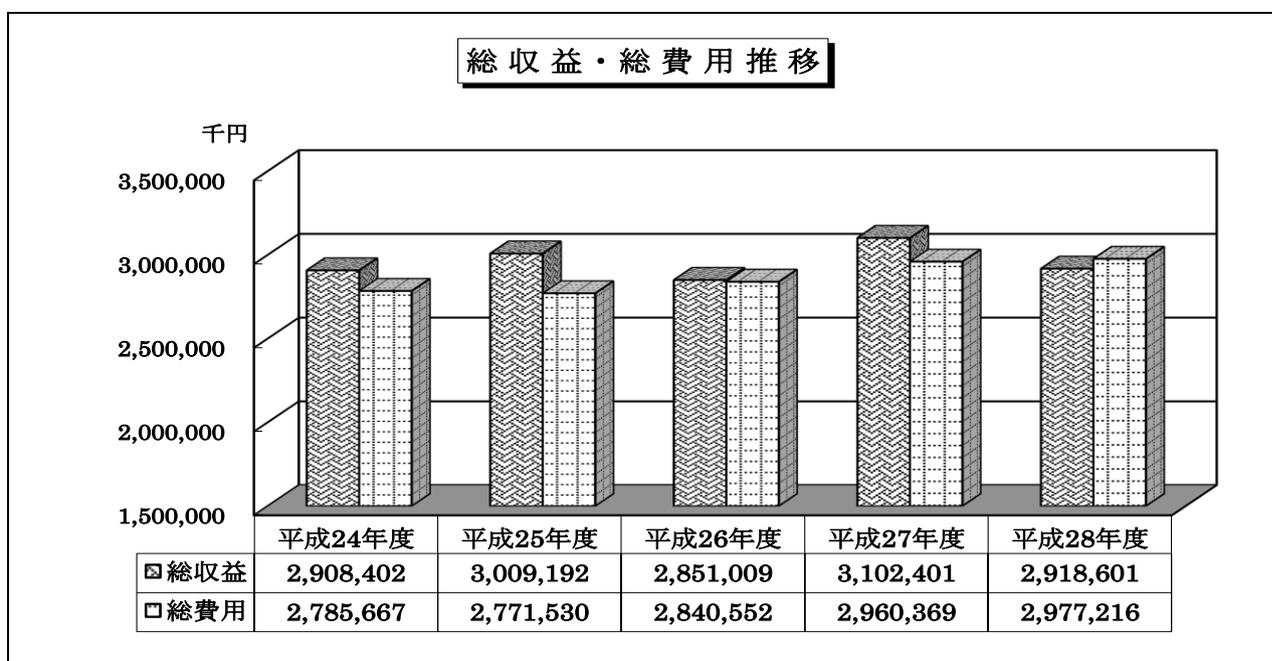
総収益・総費用すう勢比率表

(単位:円、%)

区分 年度	総 収 益		総 費 用		収支差引額 (A) - (B)	収支比率 (A) / (B)
	金 額 (A)	すう勢比率	金 額 (B)	すう勢比率		
平成24年度	2,908,401,998	100.0	2,785,666,518	100.0	122,735,480	104.4
平成25年度	3,009,192,447	103.5	2,771,529,913	99.5	237,662,534	108.6
平成26年度	2,851,008,731	98.0	2,840,552,129	102.0	10,456,602	100.4
平成27年度	3,102,400,936	106.7	2,960,368,766	106.3	142,032,170	104.8
平成28年度	2,918,601,332	100.4	2,977,216,072	106.9	△ 58,614,740	98.0

(注) すう勢比率は24年度を基準年度とする。

また、平成24年度以降の総収益、総費用の推移を図で表すと以下のとおりである。



本年度の総収支の状況は、平成24年度を比率100としたすう勢比率で見ると、総収益で前年度と比べ6.3ポイント下回った100.4%となり、総費用は0.6ポイント上回った106.9%となっている。

また、収支比率は前年度に比べ6.8ポイント下回った98.0%となり、収支差引では前年度より200,646,910円減の58,614,740円の純損失となった。

## 2 収 益

次に収益の内容を前年度と比較してみると次表のとおりである。

### 収 益 比 較 表

(単位:円、%)

年 度 区 分		平 成 28 年 度		平 成 27 年 度		対 前 年 度 比 較	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
医 業 収 益	入 院 収 益	1,508,673,441	51.7	1,512,969,803	48.8	△4,296,362	△0.3
	外 来 収 益	732,600,364	25.1	755,378,422	24.3	△22,778,058	△3.0
	そ の 他 医 業 収 益	315,100,746	10.8	240,662,877	7.8	74,437,869	30.9
	計	2,556,374,551	87.6	2,509,011,102	80.9	47,363,449	1.9
医 業 外 収 益	他 会 計 負 担 金	195,484,000	6.7	123,502,916	4.0	71,981,084	58.3
	他 会 計 補 助 金	105,496,000	3.6	141,585,451	4.6	△36,089,451	△25.5
	患 者 外 給 食 収 益	707,990	0.0	591,540	0.0	116,450	19.7
	そ の 他 医 業 外 収 益	16,424,189	0.6	16,902,934	0.5	△478,745	△2.8
	県 補 助 金	231,000	0.0	17,736,247	0.6	△17,505,247	△98.7
	長 期 前 受 金 戻 入	43,883,602	1.5	34,512,668	1.1	9,370,934	27.2
	計	362,226,781	12.4	334,831,756	10.8	27,395,025	8.2
特 別 利 益	過 年 度 損 益 修 正 益	0	-	47,529	0.0	△47,529	皆減
	他 会 計 補 助 金	0	-	258,510,549	8.3	△258,510,549	皆減
	計	0	-	258,558,078	8.3	△258,558,078	皆減
合 計		2,918,601,332	100.0	3,102,400,936	100.0	△183,799,604	△5.9

収益の内容を前年度と比較してみると、収益合計で183,799,604円(5.9%)の減収となっている。これは、その他医業収益74,437,869円(30.9%)等で増収となったが、特別利益の他会計補助金258,510,549円(皆減)等が減収となったためである。特別利益の他会計補助金の減収については、改革プランに基く繰入が平成27年度で終了したことによるものである。

入院及び外来患者の年延患者数の推移をみると次表のとおりである。

### 年 延 患 者 数 の 推 移

(単位:人、%)

区 分	平成28年度	平成27年度	対前年度比率	平成26年度	平成25年度	平成24年度
年延入院患者数	50,593	51,005	99.2	50,687	57,727	54,756
年延外来患者数	57,280	60,121	95.3	62,037	66,164	68,732
合 計	107,873	111,126	97.1	112,724	123,891	123,488

本年度の年延入院患者数は50,593人、一日平均138.6人で、前年度より延患者数412人、一日平均0.8人の減少。年延外来患者数は57,280人、一日平均235.7人で前年度より延患者数2,841人、一日平均11.7人の減少となっている。

次に患者一人一日当りの診療収入など本市と年鑑指標をみると次表のとおりである。

区 分	平成28年度	平成27年度	対前年度比較増減	平成27年度年鑑指標
患者一人一日当り診療収入 (円)	20,777	20,412	365	23,620
〃 入院収入 (円)	29,820	29,663	157	44,525
〃 外来収入 (円)	12,790	12,564	226	12,001
外 来 入 院 患 者 比 率 (%)	113.2	117.9	△4.7	179.9
病 床 利 用 率 (%)	86.1	86.6	△0.5	74.2

(注) 年鑑指標とは「地方公営企業年鑑」病院・経営主体・市の平成27年度全国平均値である。

本年度の患者一人一日当りの入院と外来の診療収入を前年度と比較すると、入院収入は29,820円で157円(0.5%)、外来収入でも12,790円で226円(1.8%)上回っている。また、年鑑指標と比較すると、入院収入で14,705円(33.0%)下回っているが、外来収入で789円(6.6%)上回っている。

外来入院患者比率(年延外来患者数÷年延入院患者数)をみると、前年度に比べ4.7ポイント下回っている。これは外来患者の減少によるものである。(審査資料別表2参照)

### 3 費用

#### 費用比較表

(単位:円、%)

年度 区分	平成28年度		平成27年度		対前年度比較	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
医業費用	2,887,258,115	97.0	2,884,840,306	97.4	2,417,809	0.1
医業外費用	83,700,024	2.8	75,176,227	2.5	8,523,797	11.3
特別損失	6,257,933	0.2	352,233	0.0	5,905,700	1,676.6
合計	2,977,216,072	100.0	2,960,368,766	100.0	16,847,306	0.6

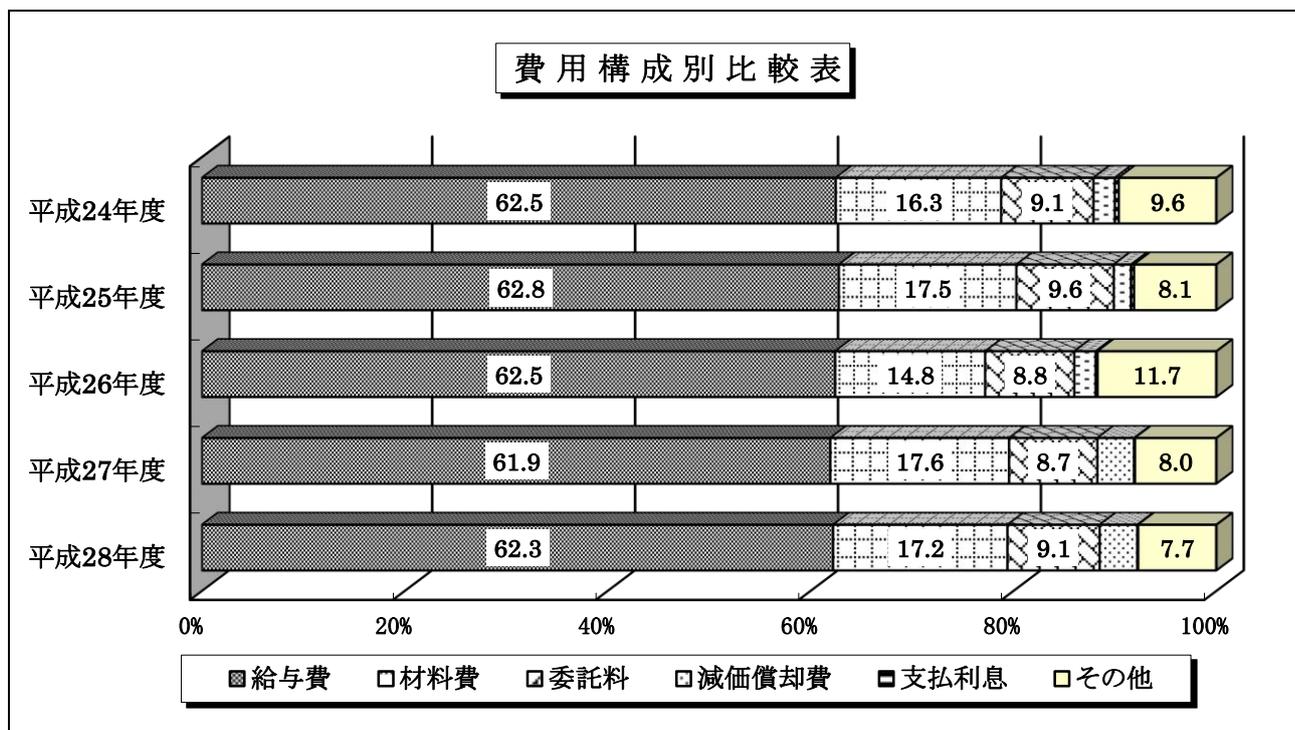
費用を前年度と比較してみると、医業外費用で8,523,797円(11.3%)、特別損失で5,905,700円(1,676.6%)、医業費用で2,417,809円(0.1%)それぞれ増加したことにより、費用合計で16,847,306円(0.6%)増加している。また、特別損失の増加については、過年度入院収益の査定による調定減分などを過年度損益修正損として計上したためである。(審査資料別表3・4参照)

これを構成別で比較してみると次表のとおりである。

#### 費用構成別比較表

(単位:円、%)

年度 区分	平成28年度		平成27年度		対前年度比較		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
給与費	1,853,951,819	62.3	1,833,319,879	61.9	20,631,940	1.1	
材料費	513,153,759	17.2	521,914,024	17.6	△8,760,265	△1.7	
委託料	270,401,602	9.1	257,873,670	8.7	12,527,932	4.9	
減価償却費	108,674,580	3.7	107,926,184	3.6	748,396	0.7	
支払利息	1,621,914	0.1	3,462,901	0.1	△1,840,987	△53.2	
その他	賃借料	36,065,575	1.2	40,282,330	1.4	△4,216,755	△10.5
	光熱水費	49,793,583	1.7	55,438,968	1.9	△5,645,385	△10.2
	修繕費・ 工事費	10,625,809	0.4	12,305,427	0.4	△1,679,618	△13.6
	その他	132,927,431	4.5	127,845,383	4.3	5,082,048	4.0
	計	229,412,398	7.7	235,872,108	8.0	△6,459,710	△2.7
合計	2,977,216,072	100.0	2,960,368,766	100.0	16,847,306	0.6	



構成別で前年度より増加した主なものは、給与費で20,631,940円(1.1%)、委託料で12,527,932円(4.9%)等である。一方、減少した主なものは、材料費で8,760,265円(1.7%)、光熱水費で5,645,385円(10.2%)等である。

#### 4 経営状況

病院事業の経済性を示す一つの指標として、総資本利益率を求めれば次表のとおりである。

区分	平成28年度	平成27年度	平成27年度 年鑑指標	算式
総資本利益率 (%)	△2.73	△5.80	0.78	$\frac{\text{当年度経常利益}}{\text{年平均総資本}} \times 100$
総資本回転率 (回)	1.33	1.25	0.57	$\frac{\text{医業収益}}{\text{年平均総資本}}$
医業収益利益率 (%)	△2.05	△4.63	1.36	$\frac{\text{当年度経常利益}}{\text{医業収益}} \times 100$

- (注)
- ・総資本＝負債資本合計
  - ・年平均総資本＝(期首総資本＋期末総資本)÷2
  - ・総資本利益率(経營業績、収益性を示し、比率の高いほど投下資本が効率的に運用されていることを表す)
  - ・総資本回転率(高いほど収益をあげるため総資本を効率的に活用したことを表す)
  - ・医業収益利益率(医業収益に占める経常利益の割合を示す)

総資本利益率は、平成27年度より3.07ポイント上回っている。これを総資本回転率と医業収益利益率とに分解してみると、総資本回転率で0.08ポイント、医業収益利益率で2.58ポイントそれぞれ上回ったことに起因している。これは当年度経常損失が63,816,868円(54.9%)減少したことによるものである。

次に経営状態の良否を判断するため、収支比率を求めれば次表のとおりである。

区 分	平成28年度	平成27年度	平成27年度 年鑑指標	算 式
医業収支比率 (%)	88.54	86.97	92.70	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$
経常収支比率 (%)	98.24	96.08	98.33	$\frac{\text{医業収益} + \text{医業外収益}}{\text{医業費用} + \text{医業外費用}} \times 100$
総収支比率 (%)	98.03	104.80	98.44	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$

(注) 年鑑指標とは「地方公営企業年鑑」病院・経営主体・市の平成27年度全国平均値である。

比率はいずれも高いほど経営状態は良好であることを表す。

総収支比率（総体的経営活動の能率を示す）を前年度と比較すると6.77ポイント下回っている。また、年鑑指標と比較しても、前年度までは上回っていたものの、平成28年度は0.41ポイント下回っている。これは、特別利益で改革プランに基く繰入を行っていたが、平成27年度で終了したことによるものである。

### III 財政状態

平成28年度末の財政状態は、審査資料別表5に示すとおりである。

また、資金の変動状況を活動区分別に表示するキャッシュ・フロー計算書は次表のとおりである。

キャッシュ・フロー計算書比較表

(単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	対前年度比較増減
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	183,958,686	137,110,089	46,848,597
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	△174,302,982	△24,549,000	△149,753,982
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,335,838	△164,062,844	160,727,006
資金増加額(1+2+3)	6,319,866	△51,501,755	57,821,621
資金期首残高	14,707,297	66,209,052	△51,501,755
資金期末残高	21,027,163	14,707,297	6,319,866

(注) 審査資料別表6参照

本年度の資金期末残高は、前年度末より6,319,866円増加し21,027,163円となっている。

その内容を区分ごとにみると、業務活動によるキャッシュは、未収金が減少したことなどにより、前年度より46,848,597円増加し183,958,686円となっている。

投資活動によるキャッシュは、前年度より149,753,982円減少し△174,302,982円となっている。これは、有形固定資産の取得による支出によるものである。

財務活動によるキャッシュは、企業債の借入収入の増加や償還額の減少などにより、前年度より160,727,006円増加し△3,335,838円となっている。

なお、年度末現在の不良債務額の推移は、次のとおりである。

(単位:円)

	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成26年度 (期首)	平成25年度
年度末不良債務額	95,725,056	65,146,538	265,115,766	199,035,038	△688,997
対前年度増減額	30,578,518	△199,969,228	66,080,728	112,176,739	△87,547,296
不良債務比率(%)	3.74	2.60	11.33	7.95	—

$$\text{※不良債務比率(%)= } \frac{\text{不良債務額}}{\text{医業収益}} \times 100$$

次に、財政状態の良否を示す一つの指標として、財務比率を求めれば次表のとおりである。

### 財 務 比 率

(単位:%)

区 分	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度 年鑑指標	算 式
流 動 比 率	72.62	79.93	62.65	191.11	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
自 己 資 本 構 成 比 率	43.57	45.44	33.94	30.82	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$
固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率	113.23	111.88	132.56	85.94	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$

(注) ・流動比率(短期支払能力を示す) ・自己資本構成比率(経営の安全性を示す)  
・固定資産対長期資本比率(固定資産の調達状態を示す)

平成28年度の決算を前年度と比較すると、流動比率で7.31ポイント、自己資本構成比率で1.87ポイント、固定資産対長期資本比率で1.35ポイントそれぞれ悪化している。

#### IV 病院改革プラン数値目標との比較

塩竈市立病院改革プランの計画期間が平成 27 年度で終了し、新たに策定された「塩竈市立病院新改革プラン」の計画期間は平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 年間である。

財務に係る数値を中心にした平成 25 年度からの決算数値の推移と数値目標との比較は、次表に示すとおりである。

区 分		年 度				
		28年度	27年度	26年度	25年度	
経常収支比率	(%)	決算数値	98.2	96.1	93.3	98.9
		数値目標	101.0	102.9	102.9	101.5
		差 額	△ 2.8	△ 6.8	△ 9.6	△ 2.6
医業収支比率	(%)	決算数値	88.5	87.0	87.2	92.3
		数値目標	94.0	95.7	95.6	95.5
		差 額	△ 5.5	△ 8.7	△ 8.4	△ 3.2
職員給与費対 医業収益比率	(%)	決算数値	55.0	54.0	59.4	51.6
		数値目標	52.7	55.8	55.7	56.3
		差 額	2.3	△ 1.8	3.7	△ 4.7
病床利用率	(%)	決算数値	86.1	86.6	86.3	98.2
		数値目標	93.9	97.3	97.3	97.3
		差 額	△ 7.8	△ 10.7	△ 11.0	0.9
1日平均入院患者数	(人)	決算数値	138.6	139.4	138.9	158.2
		数値目標	151.3	156.7	156.7	156.7
		差 額	△ 12.7	△ 17.3	△ 17.8	1.5
1日平均外来患者数	(人)	決算数値	235.7	247.4	254.3	271.2
		数値目標	276.3	307.8	307.8	307.8
		差 額	△ 40.6	△ 60.4	△ 53.5	△ 36.6
入院患者1人1日当り 診療単価	(円)	決算数値	29,820	29,663	28,595	27,679
		数値目標	29,105	27,500	27,500	27,500
		差 額	715	2,163	1,095	179
外来患者1人1日当り 診療単価	(円)	決算数値	12,790	12,564	10,422	9,766
		数値目標	10,800	9,150	9,150	9,156
		差 額	1,990	3,414	1,272	610
救急患者数	(件)	決算数値	828	1,044	1,112	1,109
		数値目標	1,000	1,000	1,000	1,000
		差 額	△ 172	44	112	109
経常損益	(千円)	決算数値	△ 52,357	△ 116,174	△ 185,432	△ 29,864
		数値目標	28,208	77,051	74,919	39,217
		差 額	△ 80,565	△ 193,225	△ 260,351	△ 69,081
純利益	(千円)	決算数値	△ 58,615	142,032	10,457	237,663
		数値目標	28,208	340,545	335,433	294,656
		差 額	△ 86,823	△ 198,513	△ 324,976	△ 56,993
一般会計からの繰入金	(千円)	決算数値	499,273	698,393	637,714	734,031
		数値目標	426,020	600,712	647,934	735,934
		差 額	73,253	97,681	△ 10,220	△ 1,903
不良債務比率	(%)	決算数値	3.7	2.6	11.3	0.0
		数値目標	-	△ 21.3	△ 14.3	△ 7.4
		差 額	3.7	23.9	25.6	7.4

塩竈市立病院新改革プランの数値目標を決算数値と比較すると、入院患者及び外来患者 1 人 1 日当り診療単価は目標値を達成したが、その他は目標値を下回っている。

## V む す び

市立病院事業会計決算の概要は以上のとおりである。

本年度の患者数を前年度と比較すると、入院患者数は412人(0.8%)減の50,593人、外来患者数は2,841人(4.7%)減の57,280人となった。また、病床利用率は前年度の86.6%から0.5ポイント減の86.1%となっている。

収益的収支を前年度と比較すると、総収入で183,799,604円(5.9%)減の2,918,601,332円、総支出では16,847,306円(0.6%)増の2,977,216,072円で収支差引58,614,740円の純損失で決算され、前年度より純利益で200,646,910円減となっている。

総収入の減の内訳は、医業収益のその他医業収益74,437,869円(30.9%)や医業外収益の他会計負担金71,981,084円(58.3%)などで増となったが、医業収益の外来収益22,778,058円(3.0%)や特別利益の他会計補助金258,510,549円(皆減)などが減になったことによるものである。

総支出の増の内訳は、医業費用の材料費8,760,265円(1.7%)や光熱水費5,645,385円(10.2%)などで減となったが、医業費用の給与費で20,631,940円(1.1%)、委託料12,527,932円(4.9%)、医業外費用の雑損失で10,274,096円(14.5%)などが増になったことによるものである。

資本的収支を前年度と比較すると、総収入では114,898,953円(108.9%)増の220,393,280円、総支出では50,408,069円(15.6%)減の273,662,022円となっており、収支差引の不足額53,268,742円は当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額などで補てんし決算されている。総収入増の主な内訳は、企業債などによるものであり、総支出減の主な内訳は、企業債償還金によるものである。

本年度は、医業収益のその他医業収益で人間ドックなどの医療相談収益や他会計負担金などで増となったものの、入院収益や外来収益が若干減少したことや公立病院特例債の償還が平成27年度で終了したことで特別利益の他会計補助金がなくなったことにより赤字決算となっている。

また、本年度は市立病院新改革プラン計画期間の平成28年度から32年度までの初年度になっている。その改革プランの数値目標について、入院患者及び外来患者1人当たり診療単価については目標を達成しているが、他の項目については、1日平均入院・外来患者数など昨年度よりさらに厳しい状況となっており、2年目以降の目標達成に向けた更なる努力を期待したい。